

# 第2期川西町国民健康保険保健事業実施計画 (データヘルス計画) 中間評価



## はじめに

- ✧ データヘルス計画は、特定健診や診療情報明細書（レセプト）の分析に基づき効果的かつ効率的に保健事業を推進するための事業計画です。
- ✧ 生活習慣病の発症や重症化を予防することを通じ「健康寿命の延伸」と「医療費・介護費の伸びの抑制を図る」ことを目的としています。
- ✧ 本町では、平成30年度から令和5年度を計画期間とする第2期データヘルス計画を策定し、保健事業を実施してきました。

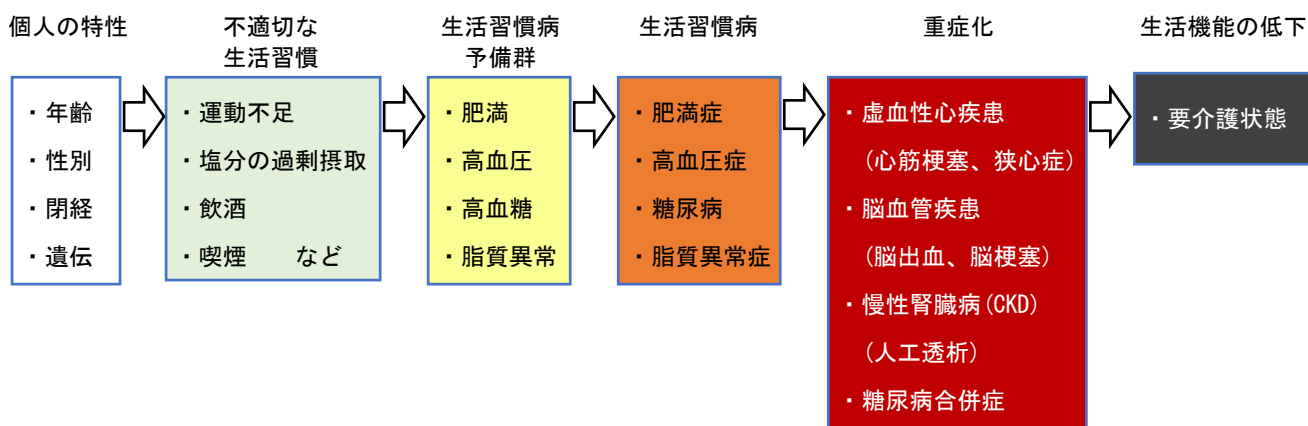
本町の特性を踏まえた健康課題をさらに明確にするため、データヘルス計画の中間評価を行いました。

## 中間評価で見直したこと

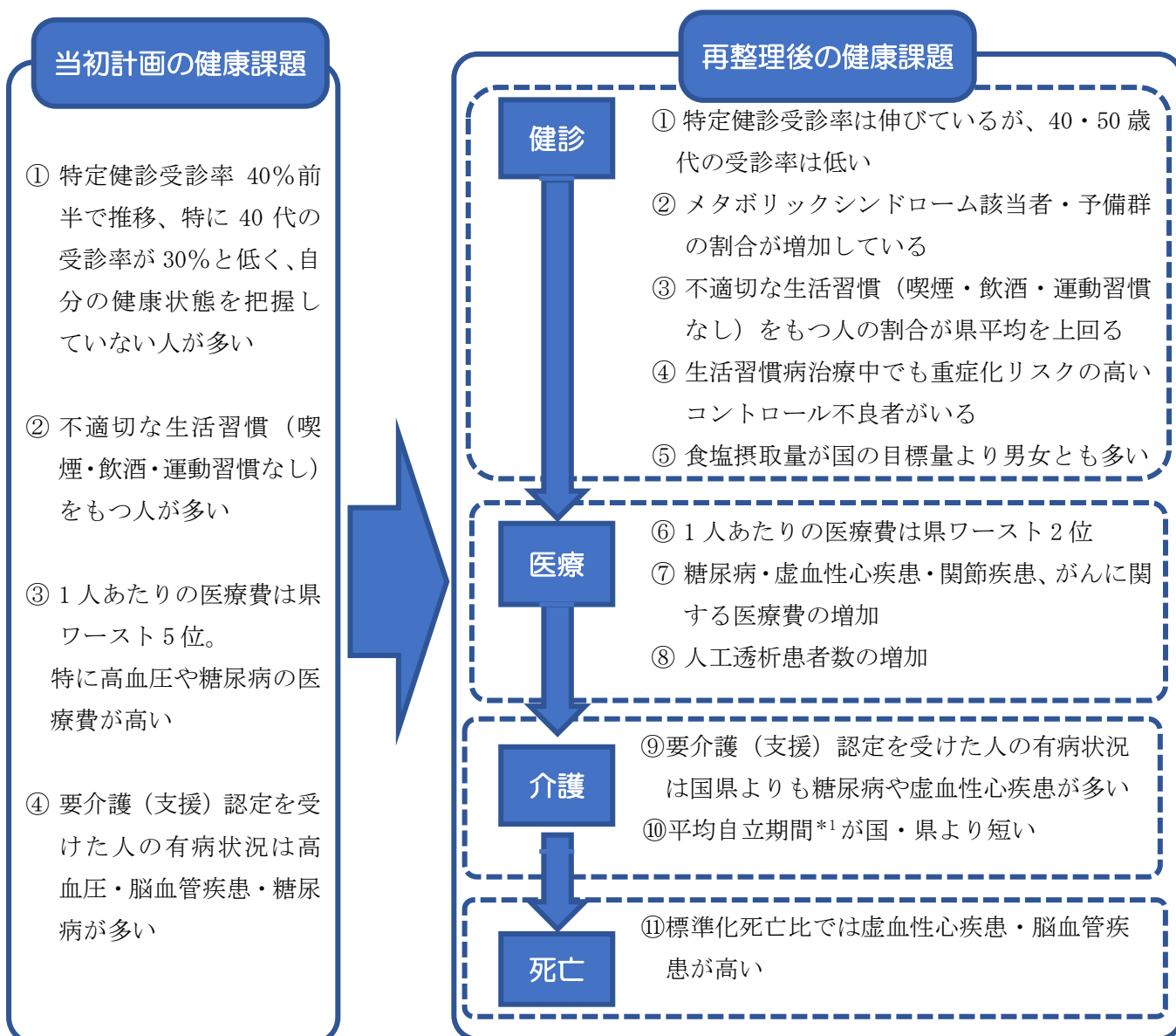
被保険者の健康課題を明確化し、課題解決に向けて、効果的な取り組みを推進するため事業の整理を行いました。

## 川西町国保における健康課題

### ●生活習慣病の発症・重症化の流れ



### ●中間評価分析結果から、健康状態の段階ごとに健康課題を再整理（中間評価）しました。

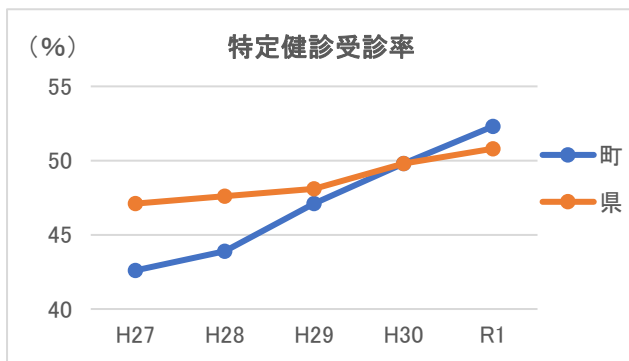


\*1 【平均自立期間】日常生活動作が自立している期間の平均。要介護2以上認定者を日常生活に制限があるとしている。

## 特定健康診査

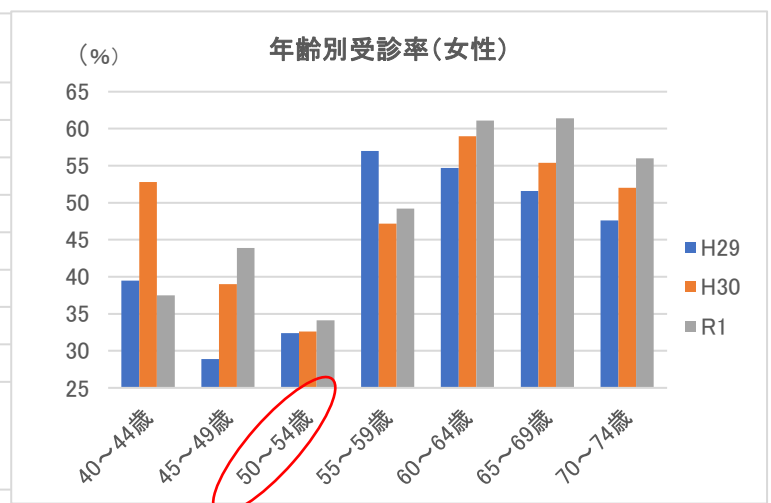
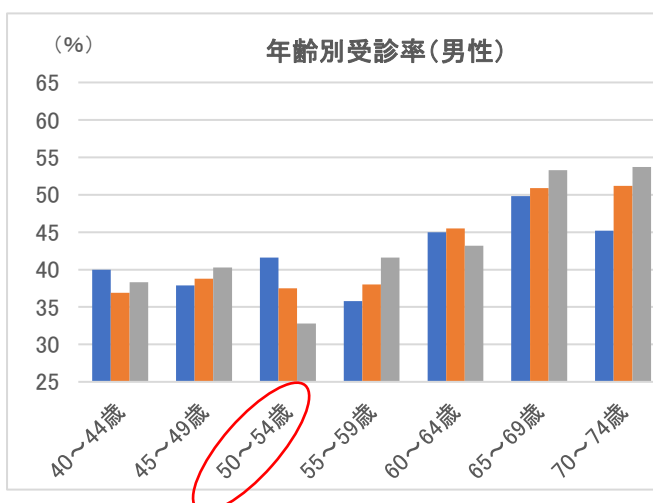
### (整理後) 健康課題 ①

#### ● 特定健診受診率推移



川西町の特定健診受診率は県平均を上回り、52%に伸びています。但し、働き盛りの50～54歳が低迷しています。

➡ 若いうちから自分の健康に関心を持ち、健康状態を把握することが重症化予防のため重要と考えます。



### (整理後) 健康課題 ②

#### ● メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

	川西町				同規模	山形県	国
	H28		R1		R1	R1	R1
	人数	割合	人数	割合	割合	割合	割合
メタボリックシンドローム 該当者	217	18.4%	261	19.9%	19.5%	17.6%	18.9%
男性	163	26.0%	198	29.2%	29.6%	27.0%	29.9%
女性	54	9.8%	63	9.9%	11.0%	8.7%	10.4%
メタボリックシンドローム 予備群	138	10.9%	147	11.3%	11.3%	9.4%	11.1%
男性	105	16.7%	109	16.2%	17.1%	14.4%	17.7%
女性	23	4.2%	38	6.0%	6.4%	4.8%	6.0%

川西町：40～74歳全健診受診者  
同規模・山形県・国：KDB地域の全体像の把握

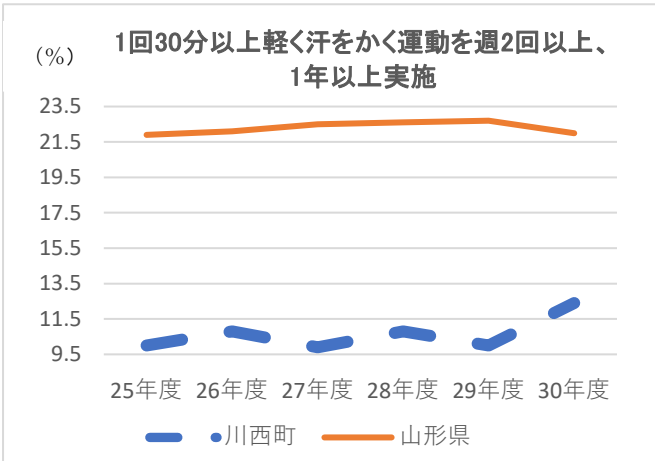
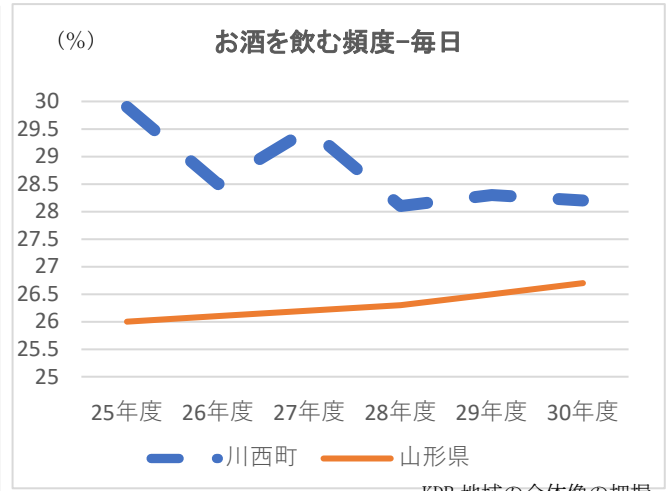
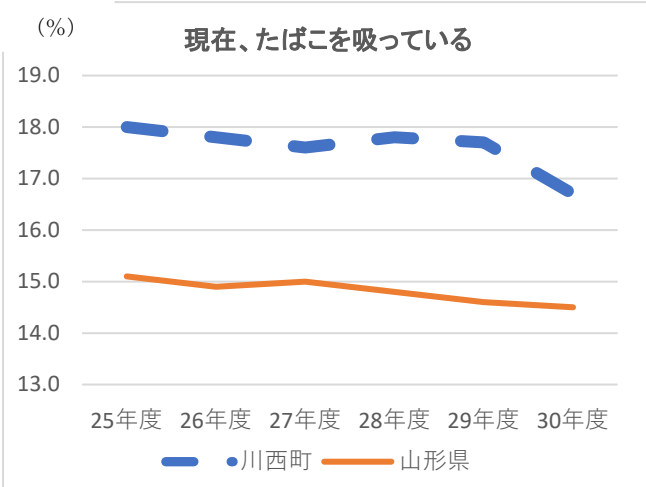


メタボリックシンドローム該当者及び予備群が増加しています。

➡ メタボリックシンドロームは虚血性心疾患や脳血管疾患の発症リスクを高めるので、肥満を解消するために生活習慣を改善していく必要があります。

(整理後) 健康課題 ③

●喫煙・飲酒・運動



**Point**

県平均よりも「たばこを吸っている人」「毎日お酒を飲む人」が多く、「週2回以上の運動習慣をもつ人」が少ない状況です。

➡メタボリックシンドローム該当者や予備群が増加している背景には、喫煙・飲酒・身体活動等の生活習慣に課題があります。生活習慣改善に意識が高まるような取り組みが必要と考えます。

(整理後) 健康課題 ④

●血糖 (ヘモグロビンA1c)

	合計	保健指導判定値						受診勧奨判定値					
		正常		正常高値		糖尿病の可能性が否定できない	糖尿病			合併症の危険が更に大きくなる			
		5.5 以下	5.6~5.9	6.0~6.4	合併症予防のための目標		最低限達成が望ましい目標	8.0 以上					
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
治療中	136	0	0%	8	5.9%	31	22.8%	39	28.7%	46	33.8%	12	8.8%
治療なし	1,191	296	24.9%	529	44.4%	293	24.6%	57	4.8%	14	1.2%	2	0.2%

●血圧

	合計	正常		保健指導	受診勧奨判定値		
		正常	正常高値	高値血圧	I 度	II 度	III 度
		120 未満/80 未満	120-129/80 未満	130-139/80-89	140-159/90-99	160-179/100-109	180 以上/110 以上
治療中	542	215 人	241 人	259 人	248 人	68 人	16 人
治療なし	785	400 人	445 人	305 人	237 人	82 人	12 人

●脂質（LDLコレステロール）

	合計	正常		保健指導判定値		受診勧奨判定値					
		120未満		120~139		140-159		160-179		180以上	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
治療中	294	179	60.9%	70	23.8%	30	10.2%	12	4.1%	3	1.0%
治療なし	1,033	474	45.9%	259	25.1%	173	16.7%	89	8.6%	38	3.7%

令和元年度特定健診結果より



治療をしていない人（未受診）や治療中でもコントロール不良の人がいます（特に血糖）。

➡ この状態が長期間続くと、重症化及び生活機能の低下につながりますので、治療を受けない未受診の人を確実に医療につなげ、かかりつけ医と連携を取りながら保健指導を行うことが重症化を予防することができると思います。

（整理後）健康課題 ⑤

●推定食塩摂取量検査

【男性】

	R1		R2	
	人数	割合	人数	割合
食塩摂取量				
~7.4g	93	13.8%	91	13.0%
7.5~14.9g	564	83.4%	586	84.1%
15g~	19	2.8%	20	2.9%
計	676	100%	697	100%

【女性】

	R1		R2	
	人数	割合	人数	割合
食塩摂取量				
~6.4g	26	4.0%	24	3.9%
6.5~12.9g	557	85.6%	539	88.2%
13g~	68	10.4%	48	7.9%
計	651	100%	611	100%

令和元・2年度特定健診結果より

※男性の食塩摂取目標量 7.5 g / 日に対し、川西町男性の平均量は令和元年・2年度とも 10.0 g  
女性の食塩摂取目標量は 6.5 g / 日に対し、川西町女性の平均量は令和元年度 10.0 g、令和2年度 9.7 g



食塩摂取目標量（男性 7.5 g / 日未満、女性 6.5 g / 日未満）に比べ、男女とも食塩摂取量が多い状況です。

➡ 「減塩」は肥満や高血圧・糖尿病を予防し、虚血性心疾患、脳血管疾患の予防につながります。食塩摂取量の多い人への減塩指導を徹底し、地域の健康課題として減塩を推進していく必要があると思います。

## 医療

### (整理後) 健康課題 ⑥

#### ● 1人あたり医療費

H28			R1		
28,884円	山形県	同規模	32,173円	山形県	同規模
	ワースト 5位/35	32位/136		ワースト 2位/35	28位/121

健診・医療・介護データからみる地域の健康課題令和元年度（累計）



Point

1人あたり医療費は県ワースト2位と上位を占める状況です。

➡ 医療費を大きく占める疾病について、対策を講じていく必要があります。

### (整理後) 健康課題 ⑦

#### ● 生活習慣病に占める割合

		川西町				同規模	山形県	国
		H28		R1		R1	R1	R1
		医療費	割合	医療費	割合	割合	割合	割合
生活習慣病 (血管を痛める因子)	糖尿病	79,989千円	11.0%	82,103千円	10.6%	10.8%	10.0%	10.2%
	高血圧症	90,472千円	12.5%	76,657千円	9.9%	7.2%	8.2%	6.6%
	脂質異常症	39,629千円	5.5%	36,008千円	4.7%	4.6%	6.2%	4.9%
	動脈硬化症	1,149千円	0.2%	385千円	0.05%	0.2%	0.2%	0.2%
	高尿酸血症	1,187千円	0.2%	643千円	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
	脂肪肝	1,046千円	0.1%	594千円	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
目標疾患 中長期	慢性腎臓病（透析有）	54,106千円	7.5%	45,918千円	6.0%	8.3%	6.6%	9.0%
	脳血管疾患	33,412千円	4.6%	29,839千円	3.9%	4.3%	1.4%	3.9%
	虚血性心疾患	18,431千円	2.6%	20,984千円	2.7%	2.9%	2.7%	3.2%
	がん	163,222千円	22.5%	206,285千円	26.7%	29.2%	28.4%	30.1%
	筋・骨格	84,549千円	11.7%	116,443千円	15.1%	16.7%	15.4%	16.6%
	精神	157,72千円	21.8%	156,454千円	20.3%	15.5%	17.9%	15.0%
生活習慣病にかかる医療費		724,912千円		771,312千円				

KDB 地域の全体像の把握



平成 28 年度と令和元年度を比べると、がんの医療費が増加し、新治療薬使用によることも要因として考えられますが、国県より低い割合です。

また、糖尿病・高血圧・脳血管疾患の割合は低くなりましたが、国よりも高い状況です。

➡ がん対策として、喫煙者を減らし、検診で早期発見することが重要です。  
また、糖尿病・高血圧・脳血管疾患対策は肥満等の生活習慣改善が必要と考えます。

### (整理後) 健康課題 ⑧

#### ●新規透析患者数

	H28	H29	H30	R1	R2
新規人工透析患者数		3 人	0 人	1 人	4 人
人工透析患者総数	5 人	9 人	8 人	7 人	11 人

#### ●人工透析患者の状況

	人工透析患者数 (実数)	大血管障害		血管を痛める因子			
		脳血管 疾患	虚血性 心疾患	高血圧症	高尿酸血症	糖尿病	脂質異常症
R2. 2 月レセプト 請求分より	11 人	2	3	11	1	5	3
	割合	18.2	27.3	100.0	9.1	45.5	27.3

新規透析患者数：KDB 厚生労働省様式(2-2)人工透析患者一覧 各年 2 月診療分から  
その他：KDB 厚生労働省様式(3-7)人工透析のレセプト分析 各年 4 月作成から



人工透析を受けている人の有病状況は、高血圧や糖尿病、虚血性心疾患が占めます。

➡ 人工透析が導入されると身体的・精神的な負担が伴うため、予防的介入により導入時期を遅らせることが重要です。また、人工透析を受けている人は、高血圧症や糖尿病及び歯周病などの複数の疾病を持っているため、かかりつけ医とかかりつけ歯科医による「医科歯科連携」を推進し、また、医療と行政（保健師・管理栄養士）によるチーム医療で、腎症 4 期者（人工透析導入見込み者）への生活指導に取り組むことが新規透析導入を遅らせることができると考えます。

## 介護

### (整理後) 健康課題 ⑨

#### ●要介護（支援）認定者の有病状況（レセプトの診断名より重複して計上）

	65歳～（40～64歳までの第2号被保険者含）			
	H28		R1	
	件数	割合	件数	割合
要介護等認定者 （国保・後期高齢者医療）	1,028件	18.6% (1号のみ)	1,045件	19.0% (1号のみ)
虚血性心疾患	663件	60.7%	642件	61.9%
筋・骨格疾患	513件	48.4%	511件	48.3%
精神疾患（認知症含む）	428件	39.2%	432件	41.3%
脳血管疾患	308件	28.1%	268件	26.0%
糖尿病	267件	24.6%	267件	25.8%

KDB 要介護（支援）者認定状況

### (整理後) 健康課題 ⑩

#### ●平均余命\*2と平均自立期間（日常生活が自立している期間の平均）（単位：年）

		川西町			同規模	山形県	国
		H28	R1	R1-H28	R1	R1	R1
男性	平均余命	77.9	79.6	1.7	80.4	80.9	81.1
	平均自立期間	76.8	78.4	1.6	78.9	79.4	79.6
	平均余命－平均自立	1.1	1.2	0.1	1.5	1.5	1.5
女性	平均余命	85.1	86.7	1.6	87.0	87.2	87.3
	平均自立期間	82.4	83.7	1.3	83.8	84.0	84.0
	平均余命－平均自立	2.7	3.0	0.3	3.7	3.2	3.3

KDB 地域の全体像の把握



要介護認定を受けている人の有病状況は、6割の人が虚血性心疾患（61.9%）、4割の人が認知症を有し、平均自立期間（健康寿命）は男女とも伸びていますが、女性は国・県よりやや短い状況です。

➡ 糖尿病・高血圧症・脂質異常症の重症化（虚血性心疾患・認知症など）を予防することが要介護認定を受ける人の割合を少なくすることにつながると考えます。

また、歯周病は糖尿病や認知症に深く関係しており、歯が多く保たれている高齢者は平均自立期間（健康寿命）が長く、要介護日数が短いと言われていることから、定期検診とメンテナンス（予防）を推進し、全年齢期を通して歯（口腔含む）の健康を保つことが必要と考えます。

\*2【平均余命】ある年齢の人々が、その後何年生きられるかという期待値のこと。生命表で計算されている。



## 死亡

### (整理後) 健康課題 ⑪

#### ● 川西町における主要死因の標準化死亡比 (SMR) \*3



死亡総数 SMR : H25~29 人口動態保健所・市町村別統計

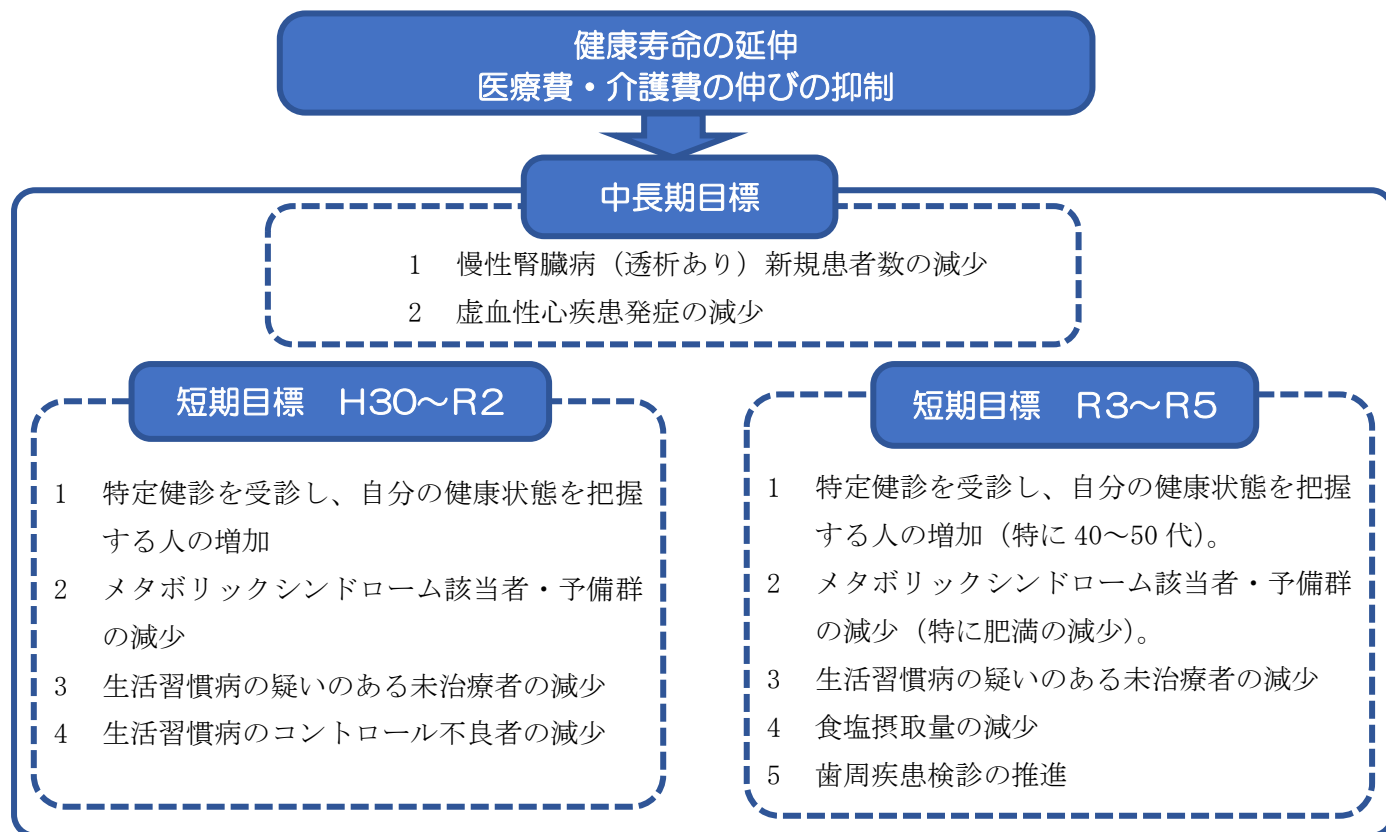


標準化死亡比 (SMR) では、脳血管疾患と虚血性心疾患が高い状況にあります。

➡ 肥満や糖尿病・高血圧症・脂質異常症の予防が重要です。

### これからの保健事業

中間評価後の健康課題を踏まえ、「健康寿命の延伸」「医療費・介護費の伸びの抑制」の2つを目的とし、2つの中長期目標と5つの短期目標を設定し、目標値を定め、保健事業を実施していきます。



\*3【標準化死亡比(SMR)】人口の年齢構成を補正して算出した死亡率で、全国平均を100としたもの。

## 具体的な保健事業の取り組み

事業名	内容	目標値 (R5)
1 特定健診受診率向上事業	40・45・50・55歳人間ドックを無料化し、特定健診受診率の向上を図ります。	受診率 60%
2 特定保健指導事業	国が定める特定保健指導を実施し、生活習慣病の発症や重症化予防を図ります。	実施率 70%
3 受診勧奨事業	血糖・血圧に係る受診勧奨判定値を超える人に対する受診勧奨を図ります。	受診率 100%
4 糖尿病性腎症等重症化予防事業	(1) 糖尿病が疑われる医療機関未受診者や中断者に受診勧奨を行うと共に、腎症4期者(人工透析導入見込み者)に対して、医療機関等と連携した保健指導を行い、人工透析導入を遅らせる取組みを強化します。 (2) 医科歯科連携を推進します	人工透析患者数および新規透析導入患者数の減少
5 がん検診受診率向上事業	がん検診受診率および精密検査受診率の向上を図ります。	受診率 100%
6 歯科健診事業	歯周疾患(病)検診を無料化し、歯科検診受診率の向上を図ります。	歯科検診受診率 3.0%
7 健康づくり・インセンティブ事業	(1) 適塩推進事業 食塩摂取目標量1日あたり男性7.5g未満・女性6.5g未満を目指します。 (2) 健幸マイレージ事業 自主的な健康づくりを推進し、商工会等の地域との連携を構築していきます。	(1) 男性 9.4g/日 女性 9.1g/日 (2) 特定健診受診率 60%
8 重複・頻回受診支援事業	重複・頻回受診等の抑制を図ります。	100%

## 計画の運用

- ✧ データヘルス計画(平成30年度～令和5年度)は、最終年度である令和5年度に最終評価を行いません。
- ✧ 個別事業計画はデータヘルス計画を達成するための単年度の保健事業計画として毎年策定し、データヘルス・タヘルス計画の進捗状況等を評価していきます。
- ✧ 計画推進に関する評価の場として、山形県国民健康保険団体連合会や山形県、川西町国民健康保険運営協議会などの関係団体からの意見等を踏まえ、評価を行います。
- ✧ 策定したデータヘルス計画は、町ホームページに掲載し周知を行います。
- ✧ 本計画に基づく保健事業実施における個人情報の取扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」及び「川西町個人情報保護条例」等を遵守しこれを適正に管理します。

第2期川西町国民健康保険保健事業実施計画

(データヘルス計画) 中間評価

令和3年2月24日

川西町健康子育て課

〒999-0193

山形県川西町大字上小松1,567

(電話) 0238-42-6640